

研究開発専門部会の当面の進め方について（案）

1. 政策評価の実施

- ◆ 原子力の研究、開発及び利用に関する政策の妥当性の評価のうち、原子力研究開発に関する部分についての評価を実施するため、関係機関からのヒアリングを行う。

【検討スケジュール イメージ】

第2回（9月）

原子力安全確保技術、核燃料サイクル関連技術、次世代軽水炉

第3回（10月）

高速増殖炉サイクル技術、原子力による革新的水素製造技術、量子ビームテクノロジー、その他

（必要に応じて回数追加）

- （関係機関からのヒアリング事項 例）
- 各機関の原子力研究開発に関する取組の方針
 - 大綱に示される基本的考え方を踏まえた、
 - ・各研究開発の取組状況と今後の課題
 - ・ “ ” 官民の分担・連携
 - ・研究開発施設の活用 等

2. 報告書のとりまとめと原子力委員会への報告

- ◆ 原子力研究開発分野について、原子力政策大綱における考え方、政策の進展状況及び関係行政機関等の取組状況、政策の妥当性の評価及び原子力研究開発を推進するための方策を含む報告書を平成20年度内を目途に取りまとめ、原子力委員会に報告する。

第〇回 報告書のとりまとめ方に関する議論

第〇回 報告書とりまとめ

（必要に応じて回数追加）

平成21年3月 原子力委員会へ報告